

## 『もういいかい 火を消すまでは まあただよ』(全国统一防火標語) ～平成27年度 春の火災予防運動防火パレード出動式～

4月13日から19日の期間中、平成27年度春の火災予防運動が実施されました。

この運動は村民の防火意識を高めるために行われたもので、『もういいかい 火を消すまでは まあただよ』の全国统一防火標語のもと、火災への予防意識や火の元の注意を呼びかけました。

運動初日の13日には、東通消防署前を会場に防火パレード出動式が開催され、東通消防署員が整列する中、こども園ひがしどおり幼年消防クラブの園児たちが元気いっぱい



の纏振りを披露し、防火の誓いを立てました。

今年には既に車両火災が1件発生しています。春は空気が乾燥しているため火災が発生しやすく、延焼が拡大しやすい季節です。また、暖房器具を使用する機会も多い季節です。

一人ひとりが、普段の生活の中で防火に対する意識を高め、火災を予防しましょう。



## 東北電力(株) 東通原子力発電所が実験器具などを寄贈

3月27日、東北電力(株)東通原子力発電所 金澤定男所長(写真右)が役場庁舎を訪れ、村内の小・中学校を対象とした教育副教材を東通村へ寄贈しました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書などの環境やエネルギーに関するたくさん副教材を寄贈してきました。

33回目となった今回は、実験器具など96台を寄贈いただきました。

このうち小学校へは、自分で作った電気をためて電球などに利用する「蓄電実験器」などが、中学校へはレンズを使って光源や結像の仕組みを理解する「光学台」などが贈られます。

これまで寄贈いただいた図書や今回の実験器具などの副教材は、次世代を担う子供たちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身を育むため活用されます。



### 電気記念日

明治11年3月25日、東京虎ノ門の工部大学校で、公衆の前で初めてアーク灯がともされたことを記念し、昭和3年、日本電気協会の総会で3月25日が電気記念日と定められました。